

## 夢をあきらめないで ～新しい教育支援のかたち～

夕方5時半、旧女川第一小学校の校舎にやって来た、こんがりと日焼けした子供たち。夜間学校「女川向学館」の夏期講習を受けにきた生徒達です。震災以降、避難所や仮設住宅での暮らしを余儀なくされ、子供たちの学習環境も激変しました。「避難所の消灯が早くて宿題ができない」「机もなく、受験勉強どころではない」。こうした問題を解決しようと、NPO 教育委員会、被災で職場を失った塾講師、支援者が手をたずさえ、日曜日以外の夕方から毎日3時間、小学校の空き教室を利用した学習支援をスタートさせました。教材は企業からの提供でまかない、送迎バスも確保し、特に大変な受験生のために自習室も用意。現在、200名の小中学生が通学中で「すぐに先生に相談できるので安心」「ひとりで考える時間が持てる」と好評です。「震災を理由に進路や夢をあきらめないよう、子供たちの日常を取り戻してあげたい」(運営メンバー・鶴賀さん談)。これからの地元を担う力が、今日もこの場所で育まれています。



運動会のあとも一生懸命、勉強する生徒たち

### Information

[女川向学館はこちらをクリック](#)